

全国の高等学校の皆様
(学校長、理科担当教員、科学部等の顧問の先生方へ)

ハーバード大学 教授 石井水晶
学校改革フォーラム 代表 盛永俊弘

「ハーバード大学の地震に関するプロジェクト (2019年度)」への 新規協力校の募集 〈全国の高校で 5校 程度〉

ハーバード大学の地球惑星科学専攻・地震学グループ(代表:石井水晶教授)が立ちあげている「地震計記録のデジタル化プロジェクト (2019年度)」に参加協力していただける高校を募集します。
(※募集に関する窓口は、日本の「学校改革フォーラム」が担います。)

記

1 ハーバード大学の地震プロジェクト

(1) 企画趣旨

地震計で記録された最初の地震は1889年4月17日にドイツで観測された日本の地震で、それ以降1980年後半までの100年近くにおよぶ膨大な記録は、地震、火山、地球温暖化など様々な研究にとって非常に貴重なものです。

しかし、それらの記録はアナログ媒体のため、そのままでは解析できません。また、紙などの劣化も進行しています。この状態を放置すると100年近くの記録が失われてしまうので、ハーバード大学では、データのデジタル化を開始しました。

そして、昨年度(2018.9)から、ハーバード大学が開発したDigitSeisソフトウェアを使って、日本の高校生とも、「地震計記録のデジタル化プロジェクト」を一緒に進めています。

(2) プロジェクトの概要

詳細は、次のWebページを必ずご覧ください。

★「地震計記録のデジタル化プロジェクト」

<http://seismology.harvard.edu/research/DigitSeisJapan/index.html>

→新着情報、2018年秋～2019年春の協力校一覧(全国14校)、参加する意義(地震学の解説などの動画など)、作業内容、参加に必要なもの(DigitSeisをインストールできるコンピューターやインターネット接続環境など)について記載しています。

(3) 参考資料

Webページの「新着情報」には、このプロジェクトが「アメリカ地球物理学連合の100周年記念プロジェクト」に選ばれたこと(2019.3.24)やハーバード大学とのスカイプでの交流、デジタル化された生徒のファイルの紹介(随時)などが記されています。

→アメリカ地球物理学連合の秋季大会でポスター発表(2018.12.14)

https://www.school-innovation-forum.com/wp-content/uploads/2019/01/181214AGU_Poster_DigitSeis_2018.final_.pdf

→日本地震学会ニュースレターで紹介(2019.3.10)

<http://www.zisin.jp/publications/pdf/newsletter/71NL6.pdf>

(4) その他(参加の今日的意義)

昨今、異常気象が常態化する“異常気象新時代”のなかで自然災害・気象災害が多発しています。また、近い将来、巨大地震の発生が予想されています。そうした状況下で、高校生がハーバード大学の地震研究のプロジェクトに参加することは、社会的にも意義あることで、「探究力」「防災力」「命を守る主体性」を高める1つの“きっかけ”にもなると考えます。

2 応募方法など

(1) 締め切り **4月15日(月) 正午**

(2) 申込方法

★「2019-2020 DigitSeisプロジェクト参加申し込み」

https://harvard.az1.qualtrics.com/jfe/form/SV_82Dn0CswHGqFZkx

(3) 新規協力校の決定 4月22日(月) 予定

今年度は、サポート体制などを考慮し、昨年度からの参加継続希望校以外で、新規に、全国で「5校程度」の参加協力校を決定したいと考えています。